

D I S C L O S U R E

2016

足利ホールディングス

第8期 営業のご報告

ミニディスクロージャー誌 2016年(28年3月期)

平成27年4月1日～平成28年3月31日

足利ホールディングス
足利銀行

企業理念

“企業理念”は、足利ホールディングスおよび足利銀行のすべての行動の原点となる考え方を示したもので、「存在意義」「経営姿勢」「行動規準」から構成されています。

わたくしたちは、この企業理念のもとで地域の総合金融機関として、地域社会とお客さまの信頼と期待にお応えできるようにつとめております。

存在意義

「豊かさの創造に寄与する」

足利銀行は、地域の総合金融機関として、地域社会のすべての人々の豊かさの創造に寄与しつづけます。

経営姿勢

「地域と共に生きる」

足利銀行は、お客さま本位の精神のもとに、地域と共に生きる開かれた銀行として積極的で健全な経営をすすめます。

行動規準

「誇りと喜びをもって行動する」

わたくしたちは、自らの使命・役割をよく理解し、たえず自分を磨き、高め、誇りと喜びのある行動によって、人々の期待と信頼に応えます。

プロフィール (平成28年3月31日現在)

○ 足利ホールディングス

商号 … 株式会社足利ホールディングス

設立年月日 … 平成20年4月1日

資本金 … 1,174億9,555万円

本社所在地 … 栃木県宇都宮市桜四丁目1番25号
(足利銀行本店内)

○ 足利銀行

商号 … 株式会社足利銀行

創業 … 明治28年10月1日

資本金 … 1,350億円
足利ホールディングスの100%子会社

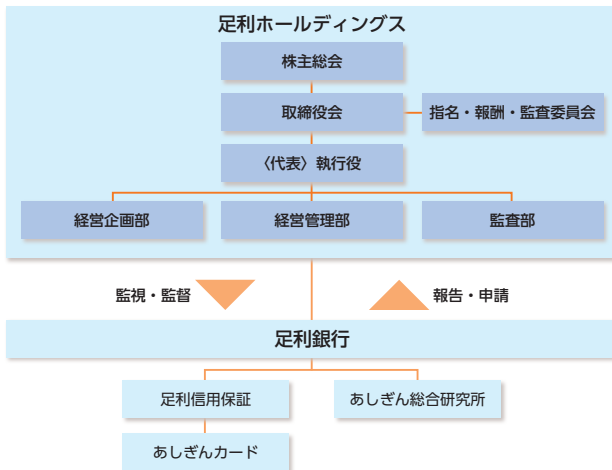
職員数 … 2,889名

本店 … 栃木県宇都宮市桜四丁目1番25号

◆ 足利銀行は明治28年10月に栃木県足利市で創業、その後、業容の拡大とともに、昭和42年2月に北関東の中核都市である宇都宮市に本店を移転いたしました。

経営体制

企画機能を統括する経営企画部、管理機能を統括する経営管理部、内部監査を統括する監査部を設置し、足利銀行の関連部門と密接に連携しながら経営の適正な管理・モニタリングを行っております。



地域と共に生き、地域の豊かさの創造に 寄与し続けてまいります。

皆さまには、平素より足利ホールディングスならびに足利銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

当期のわが国経済は、輸出・生産面に新興国経済の減速の影響が見られたものの、緩やかな回復基調が続きました。栃木県経済におきましても、設備投資の底堅さや個人消費・雇用の改善等を背景に、総じて緩やかな回復となりました。

このような環境のもと、当社グループでは、平成25年4月よりスタートした中期経営計画「チャレンジ120～創業120年に向けた果敢なる挑戦～」に基づき、主として足利銀行を通じた地域における円滑な金融仲介機能の発揮や、お客さまのニーズに応じた金融サービスの提供に努めてまいりました。

法人分野におきましては、お取引先との接点を強化するとともに、シンジケートローンや私募債、ABL（動産担保融資）等の融資手法の活用もあわせ、円滑な資金供給に積極的に取り組みました。また、創業期、第二創業期におけるお取引先支援といたしまして、「創業者懇談会」や「あしぎんビジネスプラン・グランプリ」を開催し、事業拡大に向けたサポートに取り組みしましたほか、香港駐在員事務所の開設、海外の商談会等を通じたビジネスマッチング等、海外進出支援を行いました。

個人分野におきましては、お客さまのライフイベントに応じた商品・サービスの充実に取り組みしました。具体的には、投資信託や保険商品の拡充のほか、相続セミナーや投資教育普及の一環としての親子セミナーを開催いたしましたほか、住宅ローン・アパートローンに加え、金利優遇等のキャンペーンにより無担保ローンの取組みについても注力いたしました。

店舗チャンネルにつきましては、5月に東支店を、6月に行田支店をそれぞれリニューアルしたほか、10月につくばローンセンターを開設いたしました。

こうした取組みの結果、平成27年度における当社連結の親会社株主に帰属する当期純利益は業績予想を上回る224億52百万円となりました。

平成28年度は、新たな中期経営計画「あしぎんWAY 2016～地域のメインバンクを目指して～」をスタートさせております。新中期経営計画では、「地域と共に成長する銀行＝地域のメインバンク」となること、「そのための基礎体力を有する銀行」



株式会社足利ホールディングス
取締役兼代表執行役社長
株式会社足利銀行
代表取締役頭取

松下 正直

となることを長期ビジョンとし、「基礎体力の強化と統合効果の発揮による地方創生への貢献」を中期経営目標として掲げております。この実現のため、「地域経済の成長への貢献」、「外部環境変化を的確にとらえた事業領域のフォーカス」、「密着軸（コンサルティングや事業性評価）による推進強化と機能軸（身近さと便利さの追求）によるお客さまの利便性向上」、「密着軸、機能軸を磨くための経営機能の高度化」、「経営資源の効果的な投下」に取り組んでまいります。

なお、平成27年11月2日に基本合意し、協議・検討を進めてまいりました常陽銀行との経営統合につきましては、平成28年4月25日に、株式交換による経営統合を行うことで最終合意いたしました。

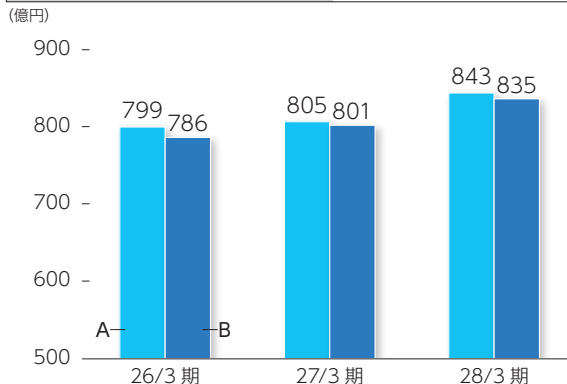
当社は、平成28年10月1日に「株式会社めがきフィナンシャルグループ」に商号変更し、足利銀行と常陽銀行が築いてきたお客さまとのリレーション、地域への深い理解を維持・深化させながら、経営統合により形成される広域ネットワーク等を生かし、総合金融サービスの進化と業務効率化に取り組んでまいります。また、より利便性が高く、質の高い総合金融サービスの提供を通じ、地域の持続的成長に貢献してまいります。

引き続き皆さまのご期待にお応えできるよう、役職員一同全力を尽くしてまいりますので、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年6月

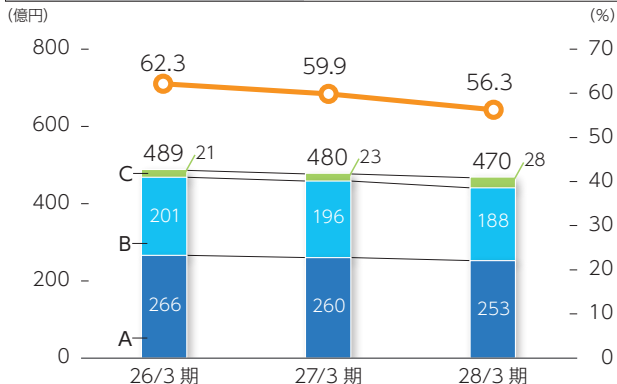
主要な計数指標 (足利銀行単体)

業務粗利益・コア業務粗利益



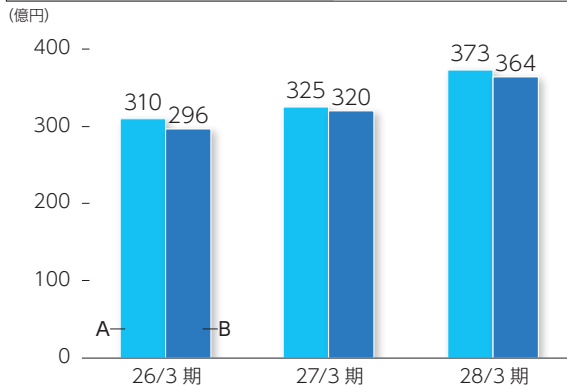
資金利益、役務取引等利益の増加により、業務粗利益は、前期比37億円増加
 国債等債券損益を除いたコア業務粗利益も、前期を33億円上回る

経費・コアOHR



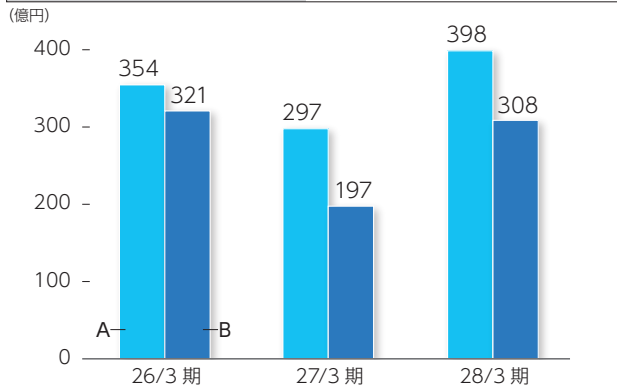
経費は、前期比9億円減少
 コア業務粗利益を分母とするコアOHRも、同比3.6ポイント改善

実質業務純益・コア業務純益



実質業務純益は、コア業務粗利益の増加、経費の減少等により前期比47億円増加
 国債等債券損益を除いたコア業務純益も364億円となり同比43億円増加

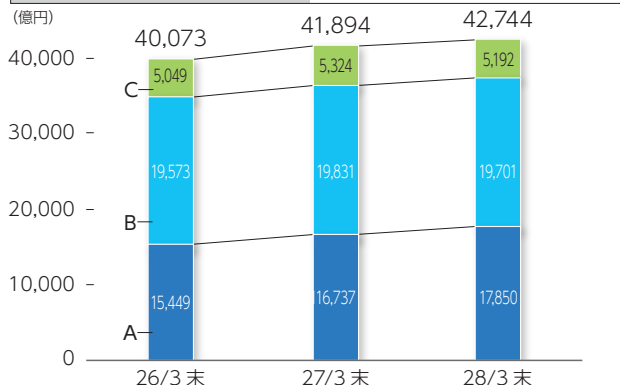
経常利益・当期純利益



経常利益は、コア業務純益の増加や与信関係費用の減少により、前期比100億円、当期純利益は同比110億円それぞれ増加

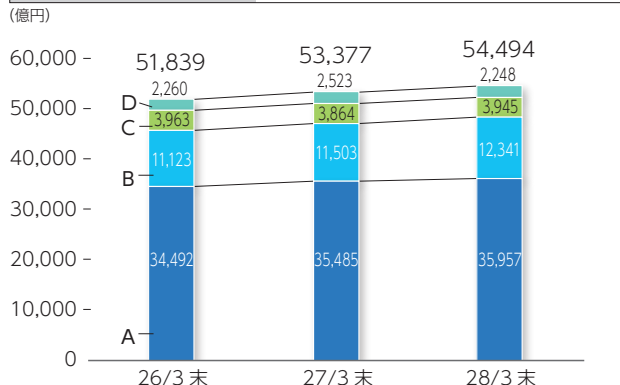
主要な計数指標 (足利銀行単体) / 自己資本比率

貸出金残高



貸出金残高は、個人・中小企業向け貸出を中心として、前期末比850億円増加

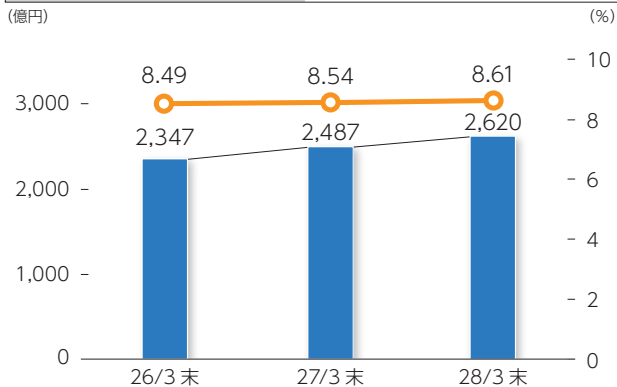
預金等残高



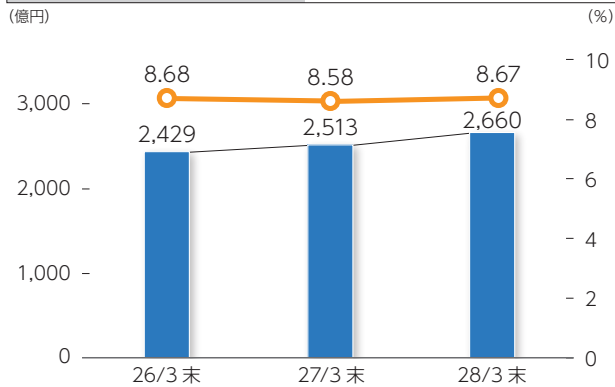
預金等残高(預金+譲渡性預金)は、個人・法人を中心として、前期末比1,116億円増加

自己資本比率の推移

足利ホールディングス連結



足利銀行単体



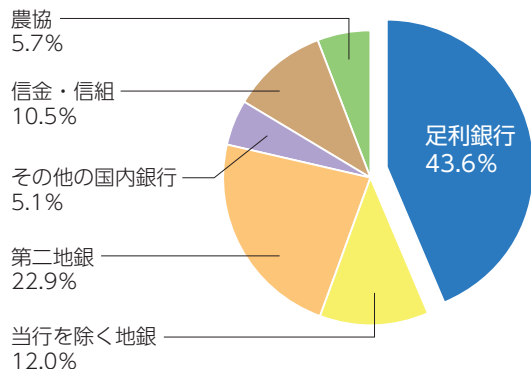
足利ホールディングス連結は、前期末比0.07ポイント上昇の8.61%

足利銀行単体は、同比0.09ポイント上昇の8.67%

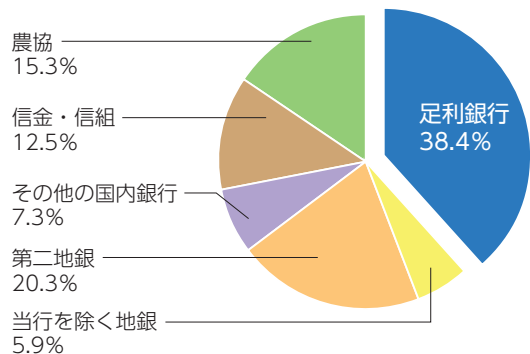
地域密着型金融への取組み

栃木県内シェア

貸出金 (27年3月末)



預金 (27年3月末)



※本計数の対象金融機関は、国内銀行（ゆうちょ銀行除く）、信用金庫、信用組合、農協です。（当行調べ）

貸出金残高、地域向け貸出金残高・比率

(億円、%)

	26/3期	27/3期	28/3期
貸出金残高	40,073	41,894	42,744
地域向け貸出金残高	33,353	35,652	37,142
地域向け貸出金比率	83.2	85.1	86.8

中小企業等向け貸出金残高・比率、地域の中小企業等向け貸出金残高・比率

(億円、%)

	26/3期	27/3期	28/3期
中小企業等向け貸出金残高	28,515	30,368	32,059
中小企業等向け貸出金比率	71.1	72.4	75.0
地域の中小企業等向け貸出金残高	26,557	28,459	30,133
地域向け貸出金に対する地域の中小企業等向け貸出金比率	79.6	79.8	81.1

預金残高、地域の預金残高・比率

(億円、%)

	26/3期	27/3期	28/3期
預金残高	49,578	50,853	52,245
地域の預金残高	49,114	50,495	51,897
地域の預金残高比率	99.0	99.2	99.3

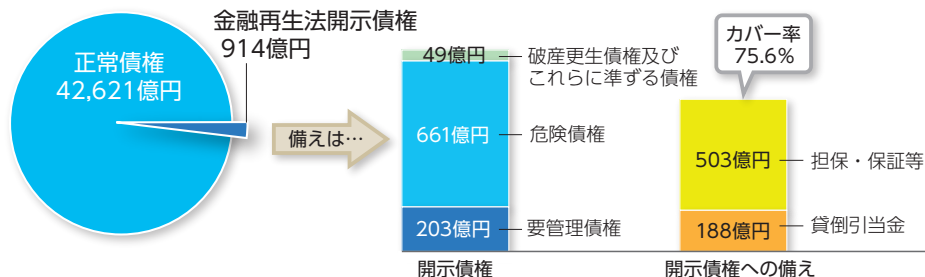
預り資産残高、地域の預り資産残高・比率

(億円、%)

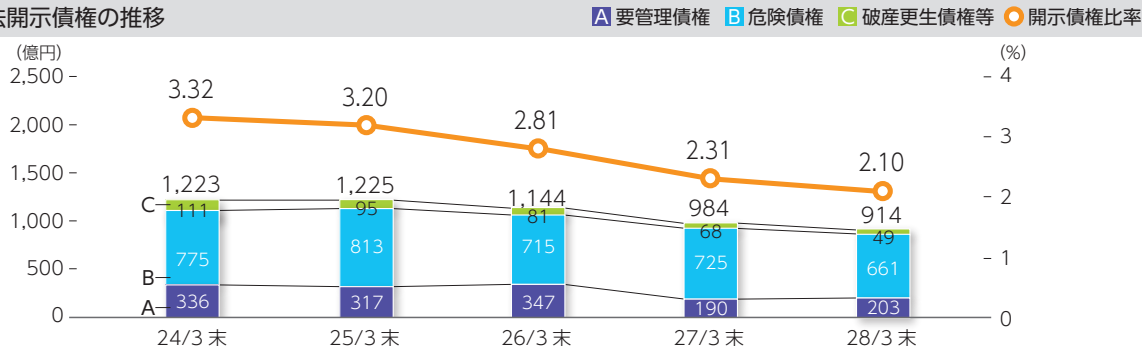
	26/3期	27/3期	28/3期
預り資産残高	7,470	7,545	7,325
地域の預り資産残高	7,462	7,520	7,291
地域の預り資産残高比率	99.8	99.6	99.5

※当行における「地域」とは、北関東を中心とした主要な営業地盤（栃木県、群馬県、茨城県、埼玉県）をさしております。

金融再生法に基づく開示債権の状況（28/3末）



金融再生法開示債権の推移



開示債権残高は、前期末比69億円減少の914億円となりました。
開示債権比率は、同比0.21ポイント低下の2.10%となりました。

金融の円滑化に関する取組方針

足利銀行では、「中小企業者等に対する金融の円滑化に関する方針」に基づき、新規のお借入れおよびご返済条件の変更等のお客さまからの各種ご相談に、これまで同様に積極的に努めてまいります。

また、経営改善支援につきましても、お客さまの経営課題に対し適切な解決策をご提案してまいります。

〈中小企業者等に対する金融の円滑化に関する方針（抜粋）〉

「お客さまからの新規のお借入れおよびご返済条件の変更等のお申込みに対して、お客さまの要望を真摯にお伺いし、適切な対応を行うよう努めてまいります。」

金融円滑化に関するご相談窓口

苦情相談窓口

フリーダイヤル 0120-550-760

受付時間 平日 9:00～17:00

(銀行の休業日を除きます)

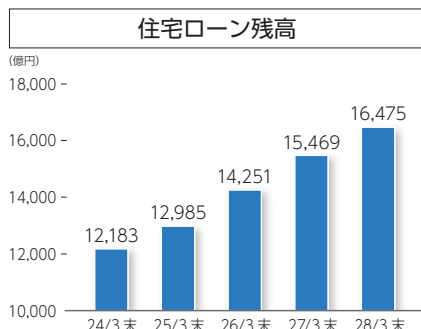
新規のお借入れおよびご返済条件の変更等をご希望のお客さまのご連絡先

お取引店の担当者までご連絡ください。

個人のお客さまへの取組み



スマイルデスク



○スマイルデスク

金融商品販売店舗に相談ブース《スマイルデスク》を設置し、専門スタッフが資産づくりのご相談をお受けしております。お客さまの運用ニーズにお応えできるよう、国内・海外各国の債券、株式、不動産への投資など様々な投資信託商品を95銘柄（平成28年3月末現在）取り扱っております。また、各種保険商品、国債、外貨預金など幅広い商品を取り揃えております。

○ローンセンター

お客さまにいつでも安心して気軽にご来店いただき、ごゆっくりとご相談いただけるように、24か所のローンセンターを設置しております。一部を除き、多くのローンセンターで土日の営業を行い、ローン専門のスタッフが各種ローン商品の説明と資金計画・返済計画等のご相談をお受けしております。

○「あしぎんカードローン〈モシカ〉“Mo・Shi・Ca”」の取扱い

お申込みからカードお受取りまでご来店不要で、お使いみちの自由なカードローンです。コンビニや当行ATMでのお借り入れ・ご返済が可能で、最短でお申込みの翌日にご希望金額をお振込みいたします。

法人のお客さまへの取組み

○「創業者懇談会」の開催

27年10月、創業支援の取組みとして、当行と栃木県内の有力企業経営者の経済団体である栃木県産業協議会との共催により「創業者懇談会」を開催いたしました。創業期にある事業者の自社の取組みや商品PR等の説明を行い、地元有力企業の経営者が経営に関するアドバイス等を行いました。

○「あしぎんビジネスプラン・グランプリ」の開催

地域で産業革新や雇用創出につながる優れたビジネスプランを表彰し、事業拡大に向けたサポートを行う取組みとして「あしぎんビジネスプラン・グランプリ」を開催いたしました。（27年11月募集開始）214件の応募総数があり、第1次・第2次・最終審査を経て、グランプリ賞1件、優秀賞3件、奨励賞4件、特別賞5件が選定されました。（28年3月受賞プラン決定）



お客さまの利便性への取組み

○ 店舗ネットワークの整備

- ・27年10月、つくば支店内に「つくばローンセンター」を開設いたしました。
- ・28年4月、川口支店を浦和支店内に開設。28年12月を目処に新店舗でのグランドオープンを予定しております。

○ ATMサービスの拡充

スーパーマーケット等の商業施設内への設置を前提としたインストア型ATMを27年度に8か所、28年4月に1か所設置し、28年4月末のATM設置個所数は、有人店舗が150か所、店舗外ATMが206か所の合計356か所となりました。

○ インターネットおよびスマートフォンによる非対面取引サービスの拡充

- ・28年3月より、スマートフォンアプリ「あしぎん口座開設アプリ」の取扱いを開始いたしました。本人確認資料（運転免許証）をスマートフォンカメラで撮影のうえ必要事項を入力し送信いただくことで、普通預金の口座開設などができるサービスです。
- ・28年3月より、個人インターネットバンキングによる当行本支店の普通預金口座へのお振込みについて、24時間365日「当日扱い」となる取扱いを開始し、急なお支払いやご送金に対応できるようになりました。



川口支店開設（浦和支店内）



地方公共団体との連携

○ 「定住応援住宅ローン」の取扱い

定住を促進する補助金等を利用する地域住民の方を対象とした「定住応援住宅ローン」について16市町（宇都宮市・大田原市・小山市・桐生市・古河市・佐野市・塩谷町・栃木市・那珂川町・那須町・那須烏山市・那須塩原市・日光市・野木町・茂木町・矢板市（50音順））と提携しております。

○ 「ペイジー収納キャンペーン」の実施

27年4月～9月、市税等のペイジー収納が可能な宇都宮市、小山市、桐生市において、当行ATM・インターネットバンキングで市税等を納付されたお客さまを対象とした「ペイジー収納キャンペーン」を実施いたしました。

○ 災害復旧への支援

27年9月、台風18号等による被災者の方々の支援や被災地の復旧に役立てていただくため、栃木県に対し義援金（20百万円）を贈呈したほか、災害救助法の適用を受けた県内8市町に対しましてお見舞金を寄付いたしました。



JR宇都宮駅にて新入行員がペイジー収納開始のご案内チラシを配布

環境問題への取組み

「あしぎんの森」づくり

24年度より職員による「あしぎんの森」づくりを行っております。地域の皆さまに四季折々の自然の美しさを感じていただける森を目指して整備活動を行っております。27年度は、役職員約70名による歩道整備、下草刈り等を行うとともに、ヤマアジサイの植樹を行いました。



「あしぎんの森」整備活動

「日光杉並木」保護活動

世界に誇る日光杉並木を守るため、「日光杉並木オーナー制度」に賛同し、一団体としては最多の80本（1本1,000万円）の杉を保有しております。また杉並木清掃活動などの保護活動にも積極的に参加しております。



日光杉並木

「足尾の山」植樹活動

煙害で荒廃した足尾の山の緑化活動を通じて、水循環系を中心とした環境問題に取り組むとともに、渡良瀬川源流地域の問題を考え、自然環境の健全化ならびに地域社会の伸展に貢献することを目的とするNPO法人「足尾に緑を育てる会」の活動に賛同し、毎年植樹を行っております。



「足尾の山」植樹



作業風景

地域社会への取組み

「とちぎ未来人材応援基金」への寄付

28年3月、創業120周年記念事業の一環として、栃木県内企業に就職した大学生の奨学金返済を支援するため創設された「とちぎ未来人材応援基金」に、2,000万円を寄付しました。



寄付金贈呈

対話支援システムCOMUOONの設置

28年2月、ご高齢の方等に、より安心して当行をご利用いただけるよう、話し手の声を聞きとりやすくする卓上型対話支援システム「COMUOON（コミュニケーション）」を導入いたしました。



コミュニケーション設置窓口

福祉関連事業への協力

27年12月、「栃木県地域福祉基金」の活動を支援するため、ピンバッジ3,000個を栃木県に寄贈しました。また、障害者就労支援事業所の製品を販売する、「ナイスハートバザールinけんちょう」への協力。および、「ナイスハートバザールinあしぎん」を実施いたしました。



「ナイスハートバザールinあしぎん」

金融教育の推進

金融教育イベントの開催

毎年、地域の小学生を対象とした『あしぎんキッズスクール「お金の体験学習」』を実施しております。また、高校生向けには第10回全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園 栃木大会」を開催しております。



「エコノミクス甲子園 栃木大会」

常陽銀行と足利ホールディングスの子会社である足利銀行は、茨城県、栃木県を中心とする北関東地域において、それぞれが確固たる営業地盤を有する地域のリーディングバンクとして、円滑な金融機能を提供しております。

取り巻く経営環境が変化の中で、両行が地域に根付いた互いのブランドネームを維持しながら協働し、統合による営業基盤の拡大と経営基盤の充実を図りつつ、経営資源やノウハウを相互活用して、地域とともに成長を目指します。具体的には、常陽銀行と足利ホールディングスが株式交換を行い、新たに誕生する新金融グループのもとで理念を共有し、足利銀行と常陽銀行が兄弟会社として事業を展開いたします。これにより、単独ではなしえないスピードと高い質で、お客さま、地域、株主の皆さまの期待に応えてまいります。



持株会社の
社名

株式会社 めぶきフィナンシャルグループ

(英文名称) Mebuki Financial Group, Inc.

(注) 足利ホールディングスが上記社名に変更となります。

～ 社名に込めた思い ～

「めぶき（芽吹き）」は“樹木の新芽が始まること”を意味し、グループ各社の知見と創意を結集させることにより、瑞々しい発想や新しい価値が次々と生み出される様を「めぶき」という言葉で表現し、グループ名称に用いています。

社名には、地域に新たな価値と活力を芽吹かせ、地域とともに持続的成長を実現していく思いを込めています。



本店所在地（登記上の住所）

東京都中央区八重洲二丁目7番2号

(注) 足利ホールディングスの本店所在地は上記住所に移転となります。
子銀行となる常陽銀行および足利銀行の本店所在地に変更はありません。

本社所在地（本社オフィス）

- 水戸本社
茨城県水戸市南町二丁目5番5号
- 宇都宮本社
栃木県宇都宮市桜四丁目1番25号

めぶきフィナンシャルグループ

(足利ホールディングスの商号を変更)

常陽銀行

足利銀行

質の高い総合金融サービスの提供を通じ、 地域とともに、ゆたかな未来を創り続けます。

グループの創意を結集し、地域の持続的成長に貢献します。

質の高い総合金融サービスの提供により、地域社会の課題解決を図り、
地域とともにゆたかな未来を創造します。

■ グループの目指す姿（戦略目標）

新グループは、両行が培ってきたお客さま、地域とのリレーション、地域への深い理解を維持・深化しつつ、広域ネットワークを活用した経済交流圏域の広がり
の追求、総合金融サービスの規模・範囲の拡大を図り、「地域産業の掘り起し、地域経済の活性化や新たな市場創造」に取り組み、地域とともに成長を目指します。

グループの統合基本戦略

地域創生への
創意結集

総合金融サービスの
拡充

エリア・チャネルの
拡充

オペレーションの革新

新金融グループの
経営管理態勢の構築

地域の未来を創造する
総合金融サービスグループ

■ シナジー目標 (平成33年度)

統合基本戦略に基づく取り組みを進めるとともに、お互いの強みやノウハウを共有し、グループの創意を結集すること等によって、シナジー効果を発揮します。

具体的なシナジー目標として、貸出金残高の増加や、業務粗利益の増加、経費の削減を図るほか、業務の効率化によって捻出した人材をお客さま対応部門にシフトしてまいります。



	平成28年3月期実績		
	常陽銀行	足利銀行	単純合算
預金残高	8兆1,033億円	5兆2,245億円	13兆3,279億円
貸出金残高	5兆9,127億円	4兆2,744億円	10兆1,871億円
経常利益(連結)	476億円	303億円(※)	780億円

(※) 足利ホールディングス連結

■ スケジュール

平成28年10月1日(土)(予定) 株式交換の効力発生

株式会社めびきフィナンシャルグループのもと、足利銀行と常陽銀行が兄弟会社として新金融グループを形成し、事業を展開いたします。

(注) 本経営統合は、関係当局から必要な認可等が得られることが前提となります。

足利ホールディングスの株式関連情報等につきましては、当社ホームページをご覧ください。

足利ホールディングス 検索

<http://www.ashikaga-hd.co.jp>

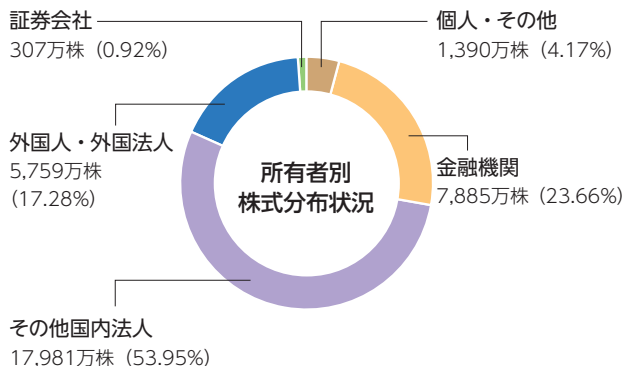
より詳細なデータはこちらをクリック

株式の状況（平成28年3月末）

- 発行済株式の総数 333,250千株
- 株主数 8,675名
- 大株主状況（上位10位）

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
野村フィナンシャル・パートナーズ株式会社	122,900	36.87
オリックス株式会社	40,000	12.00
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	19,000	5.70
三井住友海上火災保険株式会社	15,000	4.50
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	7,253	2.17
JP MORGAN CHASE BANK 385632	6,662	1.99
日本生命保険相互会社	5,169	1.55
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口9）	4,867	1.46
ジャフコ・スーパーV3共有投資事業有限責任組合	4,534	1.36
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	4,338	1.30

(注) 持株比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日
	期末配当 3月31日
	中間配当 9月30日
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部
証券コード	7167
単元株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒137-8081
および	東京都江東区東砂七丁目10番11号
お問合せ先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
	電話 0120 - 232 - 711 (通話料無料)
	[受付時間] 9:00 ~ 17:00
	(土・日・祝日、年末年始除く)
公告方法	電子公告により行います。
	URL http://www.ashikaga-hd.co.jp/e-publication/
	ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、下野新聞及び日本経済新聞に掲載いたします。

〈株式に関する各種お手続き〉

- 平成28年6月29日をもって、株主名簿管理人を三井住友信託銀行株式会社から三菱UFJ信託銀行株式会社へと変更しております。
- 株式に関する各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。
株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、見通しと異なる可能性があることにご留意ください。

営業所のご案内 (足利銀行)

営業所の状況 (28年4月末現在)			
	営業所数	店外ATM	ローンセンター
栃木県	111店 (うち出張所41)	187	14
群馬県	15店 ()	5	13
茨城県	8店 ()	2	3
埼玉県	17店 ()	1	1
東京都	1店 ()	-	-
福島県	1店 ()	-	-
合計	153店 ()	49	24

※振込専用支店 (1か店) を含む
 ※提携コンビニATM (セブン銀行ATM・イーネットATM)
 全国34,238か所 (28年4月末現在)

- (出) ……出張所
- (リ) ……リテールセンター
- (フ) ……あしぎんプラザ
- (ロ) ……ローンセンター



発行 / 平成28年6月

足利ホールディングス経営企画部

〒320-8610 栃木県宇都宮市桜4-1-25

TEL028-622-8411 (代表) <http://www.ashikaga-hd.co.jp>

足利銀行広報室

〒320-8610 栃木県宇都宮市桜4-1-25

TEL028-622-0111 (代表) <http://www.ashikagabank.co.jp>



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。